

## 4. 従業員向け環境教育

「環境人材を育て、業務に活かす」

### 事例1

# 株式会社加藤建設

## エコミーティングによる現場からの環境提案



水路工事における生態調査状況

同社は道路工事や河川整備といった公共工事が事業の中心である。一般的に建設工事＝環境破壊といったイメージが強いが、むしろ自然を守り回復させることができるのは建設業であるとの思いから、「人と自然との共生」「地域に頼られる建設会社」をめざし、2009年にエコミーティングを開始した。

エコミーティングでは、受注した現場を環境の視点で検討し、発注者に環境配慮対策の提言を行う。一例としては、生態調査を自主的に実施し、その結果を基に在来種の保護や外来種の防除を実施することに加え、調査結果を市民に開示している。また、イベントなどを通じて啓発活動も行う。

エコミーティングは2012年に愛知県環境賞「銀賞」を受賞した。副知事からも「これからの建設業界の模範となる活動である」と評された。

また、社員259名（2013年9月末現在）の内、64名がビオトープ管理士資格を取得している。ビオトープ管理士が1社に50人以上いる会社は他になく、日本ビオトープ管理士会のパンフレットにも掲載された。多くの社員がビオトープ管理士資格を取得することにより、エコミーティングが活性化し、建設工事における環境配慮意識は向上している。

所在地：愛知県海部郡蟹江町下市場19-1  
URL：<http://www.kato-kensetu.co.jp/>

事業概要：土木一式工事、建築一式工事、建築設計業、地質調査業務等

### ▶今後の取り組み方針や課題

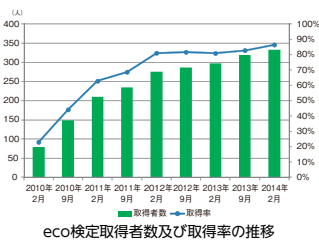
当初は、ビオトープ管理士の合格率は50%程度あったが、最近では低下しているため、ビオトープ管理士の知識をふまえたエコミーティングを行い合格率の上昇を狙うとともに、最終的には全社員取得を目指す。

今後は、社内社外ともにエコミーティングに対する理解を深めるよう活動し、建設業界のスタンダードにしていきたいと考えている。

### 事例2

# ブラザー販売株式会社

## 全従業員で環境社会検定試験（eco検定）取得をめざす



eco検定取得者数及び取得率の推移



エコプロダクツ2013

環境意識の向上、お客様やビジネスパートナーに対し、同社の環境の取り組みや製品の環境配慮機能を説明できることを目指して、2008年より従業員にeco検定の受験を推奨している。

事務局とeco検定の合格者（エコピープル）の有志により受験者をサポート。オリジナルテキストの配布やテレビ会議による勉強会の実施のほか、試験直前には週3回メールマガジンを配信し、受験者に対し合格への後押しをしている。

同社のeco検定取得者は年々増加し、2013年度12月の試験を終えた時点で取得者の総数は333人、取得率は86%となった。合格者は「エコピープル」の称号を名刺に記載できるため、お客様とのコミュニケーションのきっかけになることもある。こうした取り組みが評価され、東京商工会議所主催の「eco検定アワード2011」において「eco検定推進賞」を受賞。さらには、親会社と共同出展した「エコプロダクツ2013」の展示説明は、全てエコピープルにより行われ、主催者や来場者から評価をいただいた。

所在地：名古屋市瑞穂区苗代町15-1  
URL：<http://www.brother.co.jp/bsl/>  
事業概要：情報機器事業、ホームファッション機器事業

### ▶今後の取り組み方針や課題

今後もeco検定の受験を推奨していく。現在も社内には受験者の仲間がいることで、自然に皆が受験する雰囲気がある。

今後の課題は、検定に合格するだけでなく、得た知識をどう活かすかという点である。環境や地域社会へ継続的な取り組みを行い、より高いレベルで社会の期待に応えていくことで従業員が「誇りの持てる企業」となることを目指している。

## フルハシEPO株式会社

### 内定者への環境教育で自社の想いを伝える



内定者への環境教育



田植え体験

木質リサイクル等の環境関連事業に力を入れている同社では、毎年内定者研修で環境教育を実施している。プログラムにはグループ会社である株式会社フルハシ環境総合研究所が開発した「エコ・ネイションゲーム」を利用している。エコ・ネイションゲームは、環境と経済のバランスを体験するシミュレーションゲームで、チーム対抗で疑似的な生産活動を行い、その際に発生する環境負荷をどのように対処するかを考えさせる。途中で様々なイベントが発生し、環境活動と経済活動のバランスをうまくとることが求められる。チーム内外でコミュニケーションをとり、リーダーシップの発揮が必要となる場面も多く、内定者研修に必要な要素が多く盛り込まれている。

さらに、プログラムではセヴァン・スズキの伝説のスピーチ映像を視聴し、入社後の自分を想像してディスカッションを行うなど、ワークショップを中心に、丸1日かけて行う。参加した内定者からは高い満足度を得ており、環境事業を本業とする同社ならではのユニークなやり方で環境に対する想いを内定者に伝えている。

所在地：名古屋市中区金山1-14-18  
金山センタープレイス6F

URL：http://www.fuluhashi.co.jp/

事業概要：木質バイオマス、プラスチックリサイクル、建築系副産物リサイクル、各種物流機器の製造販売、ヨガスタジオ等

#### ▶今後の取り組み方針や課題

新入社員と入社2年目の先輩社員との交流の場「ルーキーキャンプ」や間伐体験・田植え体験等、屋外での研修・活動も行っており、業務時間外での交流を通して社員同士の親睦を深める工夫を取り入れている。今後も、環境研修を継続的に実施し、環境に関する知識を身につけ、環境事業を発展させていく。

## 株式会社エステム

### 排水処理技術・法規制の教育でビジネスを広げる



排水処理講座



排水処理の基礎をわかりやすく講義

同社は、45年間の事業で培った排水処理の経験とノウハウを活かし、お客様向けの環境教育として排水処理講座を開催している。

排水処理は、一般的に企業の担当者が独学で対応しているケースが多いが、排水処理は業種や製品によって性質が異なる上、季節や様々な要因によっても変化するので、経験や勘だけでは対応しきれない問題も発生する。また、担当者がいなくなるとノウハウも消滅する恐れがある。

お客様が排水処理についての疑問や悩みを解決するために、実際に現場で役立つ知識を習得する講座を開催し、毎回多くのお客様が参加する。排水処理の基本的な仕組みや関連する法律等の基礎

を学習する入門編と、排水処理施設における大幅なコスト削減のヒントや日常管理を通じた改善のポイントに加え、確実で無理のない法令順守と今後の対応策を考える実践編の二つのコースを開催している。

毎回参加いただく企業には、社内での知識やノウハウの継承にも役立てていただいております。排水処理に関する課題解決のお手伝いをすることで、お客様の拡大にもつながっている。

所在地：名古屋南区弥次工町2-9-1

URL：http://www.stem.co.jp/

事業概要：水処理施設維持管理、設計・施工、環境ソリューション、環境調査分析、環境コンサルタント業務、広域管理システム、公害防止および資材販売等

#### ▶今後の取り組み方針や課題

お客様の個別の課題に対応するために、技術者が出向いて出張講座を実施している。各社の排水処理施設に沿った内容で実施するオーダーメイドの講座は、即戦力アップにつながることから、今後も力を入れていく。

## 株式会社マルワ

所在地：名古屋市天白区平針4-211

URL：http://www.maruwanet.co.jp/

事業概要：総合印刷、販促企画、マルチメディア等

### 委員会の自主運営及び学生インターンシップの 受け入れによる環境教育



地域清掃



インターンシップ

同社では、約6年前に5つの委員会（品質向上、環境、広報、社員交流、情報）を設置し、全社員がいずれかの委員会に所属して、自主的な活動を実施してきた。例えば環境委員会は、社内に整理整頓を呼びかけ、毎朝の清掃活動、月1回の近隣の公園清掃、年2回の美化コンクール等を実施。2014年には、ESDユネスコ世界会議に向けて、年4回発行される社内報で「ESD」を特集している。

各委員会の取り組みは、年に1回の発表大会で全社員の投票により評価される。各委員会が発表大会に向けて自主的に活動することで、社内のコミュニケーションの輪が広がり、ESDにつながっている。

また、2001年からインターンシップを開始し、中学・高校・大学を合わせて年間約15校を受け入れている。中学生は1日、高校生は数日間、大学生は2週間かけて、印刷物の製作現場や営業を体験する。学生に対して取って仕事内容を細かく指示・設定せ

ず、インターンシップ生が自ら気づき、行動することを大切にしている。インターンシップ最終日には、学生が、学んだことや気づきをまとめ、プレゼンを行う。ある大学とは、インターンシップ終了後も、広報の表紙をデザインしてもらうなど、様々な連携が広がっている。

#### ▶今後の取り組み方針や課題

委員会活動は日々の地道な活動であるが、社員が主体的に取り組み、発表の機会を設けることで、やりがいや達成感が得られる。今後も社員が主体となった活動を展開していく。

## 株式会社アイ・エス・システムズ

所在地：愛知県岡崎市能見通1-61

URL：http://www.is-systems.co.jp/

事業概要：システム開発等

### 自然との共生を目指し、木こり体験など 社員が楽しめる研修を行うIT企業



木こり体験ツアー



過疎地オフィス視察

同社では、以前から将来的に農村や田畑の中で仕事をするという「自然と共生する将来の会社のあり方」を絵画に描き、全社員でそのイメージを共有している。

IT会社でも何かできるはずという発想から、2013年秋、岡崎市額田地区で木こり体験会に社員15名が自主的に参加。日常ではできない、のこぎりを使った間伐体験を楽しんだ。日本の森林問題の全体像を理解するため、木こり体験会の前に森林関係の有識者を招いて、森林が抱えている問題やその影響に関する勉強会も行った。

この体験会は、社内にそれ程負荷がかからないようにするため、既存の企画に参加する形で実施した。リクリエーションと社会貢献活動をミックスした活動は、どの会社にも取り入れやすい事例であり、同業者やユーザーも巻き込んだ活動として展開していきたいと考えている。

#### ▶今後の取り組み方針や課題

IT企業は、特定の地域に生産設備があるわけでないため活動拠点の制約は少なく、例えば過疎地でも事業を行うことは可能である。2013年には社員旅行も兼ねて、徳島県神山町に移転した先進的なIT企業のオフィスを視察。IT企業の郊外移転は今後も続くと考え、将来的には地元貢献につながるよう岡崎の本社から移動時間1時間以内の郊外にサテライトオフィスの設置を考えている。

# 名古屋発條工業株式会社

## エコ概念を全社員に展開し、名古屋市優良エコ事業所認定を取得



平面バフ研磨機



同社の製品

同社は、取引先からの推奨により、2001年にISO14001認証取得の取り組みを開始した。環境方針を制定し、ISO事務局を発足して以来、全社員の総意として地道な活動を続けてきた。

環境を考慮しない生産活動は成り立たないとの考えに基づき、会社の生産活動に関連することから環境改善に取り組み、①電力使用量削減（省エネコンプレッサーの使用やLED設置等）②省資源（平面バフ研磨<sup>\*</sup>等のシャワーを循環式に変更）等を実施。

同社の環境教育は、ISO14001の理解や統計手法の習得など、上司が社員一人ひとりのスキルに合わせて訓練を計画し、マンツーマンで指導している。また、3カ月に1度、全社員が集まり、

コスト削減や作業効率の向上といった改善提案に関する発表会を開催し、優良な成果を表彰している。

こうした取り組みにより、生産工程の歩留率が大幅に向上するなど、コスト削減効果が表れ、2012年に名古屋市優良エコ事業所として認定を受けた。2013

所在地：名古屋市中川区花塚町2-100

URL：http://meihatsu.co.jp/

事業概要：スプリングや精密プレス部品等の加工、製造・バレル研磨技術による、製品調整

年には、環境省主催のセミナー「省エネ・温暖化対策を通じた経営力向上のすすめ」において、中小企業のグッドプラクティスとして紹介された。

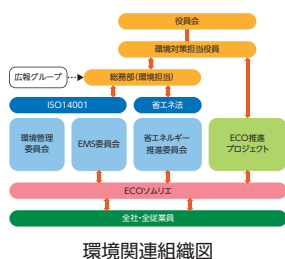
※布・皮・ゴムなど柔軟性のある素材でできた軟らかいバフに、砥粒を付着させ、このバフを回転させながら工作物に押し当てて表面を磨く加工

### ▶今後の取り組み方針や課題

ISO14001認証取得の取り組みを開始してから、社員にエコ概念が浸透し、自然に活動できるようになるまでに5～6年を要した。この環境マネジメントシステムをもとにPDCAサイクルを継続していく。

# 株式会社ナゴヤキャスル

## 「ECOソムリエ」制度を軸に活動を推進



環境関連組織図



総支配人もエコカップのリサイクルに同行

同社は、運営するホテルにおいて、全部署から1名ずつ環境担当者を選任し「ECOソムリエ」と名付けている。この体制は2009年から継続しており、現在は計26名が会社から正式に委嘱され、ボトムアップ型の活動を牽引している。組織図が示すとおり、ECOソムリエは社内での体制において各環境関連組織と広く関わっており、会社と従業員との橋渡し役を担う。具体的な活動としては、自部署の廃棄物削減や省エネ計画の立案と推進、ISO審査での対応、エコキャップ収集や清掃等の地域貢献活動への参加など多岐にわたる。近年では紙リサイクルの部署別分別マニュアルを独自に作成するといった社内での啓発活動をはじめ、行政機関や学校関係者等のホテル見学の際には

はECOソムリエも対応するなど、責任と権限を与えることでモチベーションを高めている。

また、ECOソムリエとしての活動を人材育成の場として活用しており、任期は原則1年とし、多くの社員に環境に対する理解を浸透させている。ECOソムリエ卒業生が部署の中にたくさんいれば、それだけ環境活動が進めやすくなるこ

所在地：名古屋市中区樋の口町3-19

URL：http://www.castle.co.jp/

事業概要：ホテル、飲食店ならびに結婚式場の経営、パン、ケーキの製造および販売等

ともねらいのひとつ。これらの取り組みが評価され、2011年には名古屋市エコ事業所優秀賞、愛知環境賞優秀賞等数々の表彰を受け、様々なメディア・媒体に取り上げられており広報宣伝効果も大きい。

### ▶今後の取り組み方針や課題

組織全体として環境活動を推進するためには上職者の理解を得ること、巻き込みを図ることが重要であると実感。今後も活動の「見える化」を図るとともに、活動によるコスト削減効果や外部への波及効果なども発信し、全社での協力体制を作っていく。

## 株式会社美研コーポレーション

所在地：名古屋市中区栄2-16-1

事業概要：印刷薬原材料、化粧品原料、洗浄剤原料等の販売

### eco検定のグループ企業全社員取得と5S活動の推進



白川公園での落ち葉拾い

同社は印刷・製版機材と関連資材を扱う株式会社日研化学研究所のグループ会社。親会社の日研化学研究所では、エコアクション21の取得をはじめ、熱心に環境活動に取り組んでおり、同社も含めグループ全体で新入社員を除く全社員（約50人）がeco検定を取得している。eco検定の取

得は、化学薬品を取り扱う同社の業務において、有害化学物質の環境影響の把握やセールスへの環境知識の活用という形でプラスになっている。また、月1回、会社周辺の清掃活動を行っている。元々は少数の有志がはじめた取り組みだが、社員全体に広がっている。

#### ▶今後の取り組み方針や課題

グループ全体で5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を推進中。5Sが全社的に「あたりまえ」のこととして根づきつつあり、地域美化活動の原動力にもなっている。5S活動をさらに発展させ、社会貢献活動にまで活かしていくことが現在の目標である。

## エスペックミック株式会社

所在地：愛知県丹羽郡大口町大御堂1-233-1

URL：<http://www.especmic.co.jp/>

事業概要：環境創造事業、環境モニタリング事業

### 本物の緑を体験してもらいたい



中学生の郷土学習・職業体験



大学生インターンと自然林調査・研修

同社は、宮脇昭氏（横浜国立大学名誉教授）の森づくりを実行部隊として支える緑化事業者である。1970年代初頭に宮脇氏とともに東海市にある、新日鐵名古屋工場の環境保全林づくりを手がけ、工場立地法のない時代から緑化事業を続けてきた。また、「植」と「食」をテーマに、水辺環境整備のための資材販売や植物工場等の事業を行っている。在来植物を植える本物志向が同社のこだわりでもある。4.5haの圃場の内、約3000㎡で樹木苗を育てており、それ以外の多くはチガヤを中心に、ヨシ等の水生植物を育てている。新入社員には、現場・現物の重要性を理解させるために必ず1年間は圃場で研修訓練を受けさせている。

中学生・高校生の就業体験、大学生のインターシップは10年以上前から受け入れている。本物志向を伝えるため、施工を手がけた事例地の見学を始め、圃場で植物の育成管理を体験させ、参加した中学生からは「緑の大切さに気づくことができた」等感想が寄せられている。

中学校では「あいさつ、身だしなみ、言葉づかい、仕事ぶり」を職業体験のテーマとして来ている事より、従業員にとっては、自分たちの事業の原点を振り返る機会、刺激にもなっている。

#### ▶今後の取り組み方針や課題

親会社のエスペックとともに「エスペックみどりの学校」を関西学院大学の協賛を得て実施。同社から講師を派遣し、座学と実習で構成したプログラムを年4回開催している。今後も本物の緑に触れていただける機会を提供していく。

# 中部電力株式会社

所在地：名古屋市東区東新町1番地  
 URL：http://www.chuden.co.jp/  
 事業概要：電気事業およびその附帯事業、ガス供給事業、蓄熱受託事業等

## 環境教育トレーナーを介して、全従業員へ環境教育を実施



eラーニングの受講

	基礎知識	一般的な環境知識	環境情報
入社1年目	新入社員教育 (eラーニング)	環境教育トレーナー制度による教育	環境情報の発信環境部HP掲載情報
2年目以降		eラーニングによる教育	

環境教育体系

新入社員には、同社の従業員として知っておくべき環境基礎知識を習得させる

各部署から1年間の任期で選任された環境教育トレーナーを通じて全従業員を対象に、環境教育を実施している。トレーナーは環境部による講習会や情報提供等の内容をもとに、職場懇談会等のミーティングの場で部署のメンバーを教育する。トレーナーは、同僚に内容を伝え理解してもらうために、真剣に講習会を受講することになる。職場ミーティングの実施結果は環境部に報告することとなり、環境部はこの結果を翌年度の教育の改善に繋げると同時に、トレーナーにフィードバックしている。

2013年度はトレーナー講習を445名が受講し、延べ5,054名がトレーナーとしての経験を積んでいる。講習会は遠隔地のトレーナーの移動時間を省くためテレビ会議システムを導入しているほか、イントラネットで講義資料を配布する等、効率的な運営に向け改善を続けている。

ためeラーニングを採用。その他の従業員も必要に応じてイントラネットで最新の環境知識が得られるようにシステム化している。

### ▶今後の取り組み方針や課題

環境教育トレーナーの講習内容は毎年大きく変わるわけではないが、環境法規制の改正や地球温暖化対策など、全従業員に関わる重要な事項を含んでいる。今後も効率的な運用を心がけ、柔軟に仕組みを改善して従業員向け環境教育を継続していく。

# 株式会社新日

所在地：名古屋市中川区山王1-8-28  
 URL：http://www.shinnichi.co.jp/  
 事業概要：建設事業（土木・建築）に関する調査・研究・企画設計および評価

## 毎月エコ情報を全社員に発信

エコ情報一覧表	
1	地球環境問題に目を向けよう (H15.7)
10	使用済み地下鉄乗車券について (H16.10)
40	ガソリンの使用量を抑えるためのエコドライブ (H19.7)
60	COP10とは？生物多様性条約 (H21.3)
100	エネルギー消費を考えよう、エアコン、ジャー炊飯器 (H24.9)

エコ情報一覧表（抜粋）



地域美化活動

建設コンサルタント業を営む同社は、名古屋市のエコ事業所認定制度の開始当初から早くに認定を受け、それ以来約10年間、社内向け回覧紙「エコ情報」を毎月発行し続けるなど、地道な社員向け環境教育に取り組んでいる。

「エコ情報」は一般的な環境情報だけでなく、家庭でも使えるエコ知識を盛り込むよう心がけ、毎月全社員に配布している。2003年の第1号発行から開始し、現時点では124号まで発信を継続している。

その他にも、省エネルギー・省資源のための各種取り組みを続けており、LED照明の導入による節電効果の検証、エアコンの設定温度の厳密化、

不要照明のスイッチOFF管理の徹底等を実施。

また、近隣の地域美化活動にも積極的に取り組んでおり、毎月2回、3～4名で班を作り、計2班で近隣の公園・歩道・駐車場の清掃活動を行っている。清掃活動を行うようになってから社員のモラルも向上し、「ごみは捨てて掃除するよりも、捨てない。」という考え方が広まり、社内でも自主的に整理整頓が行われている。

### ▶今後の取り組み方針や課題

社員向け環境教育の各種取り組み、地域清掃等はどれも地道な取り組みであるが、実直に継続することで社員の環境意識の高まりを感じている。継続的な努力こそ進歩向上のために不可欠なものであるという信念に基づき、今後もこれらの活動をたゆまず続けていく。